

(3) 環境対策と経済効果の両立「乾燥炉内溶剤濃度制御システム」

理研計器株式会社 吉川 進

要 旨：

1 . 現在印刷業界と取り巻く大きな問題

- ・紙・フィルム等の原材料、溶剤及び燃料のコストが急騰しているが、製品価格に転嫁出来ず経営を圧迫している。
- ・埼玉県条例及び大気汚染防止法に見られる様に、**環境対策**に対する社会的な要請が高まっており、それを疎かにすると地域住民との摩擦が大きくなり、会社の存続を左右されかねない。

2 . 環境対策

- ・平成22年度末が猶予期限となっている大気汚染防止法対応は、現状の技術では**脱臭設備の設置**が不可欠となる。
- ・印刷工程で発生する大風量の排気を処理するためには、大容量の処理設備が必要で、かなりの資金とスペースが必要となる。
- ・また、脱臭設備を設置後、ランニングコスト（電力代、助燃燃料費）は生産に寄与しない**経費**として経営の重荷となる。

3 . 提案

- ・弊社の信頼性が高い「溶剤濃度計」を使い、**環境対策の実施と生産コスト低減を同時に実現**するシステムを提案する。
- ・このシステムの導入により
 - 排気風量を減らせるので、脱臭装置のコスト、設置スペースが削減出来る。
 - 乾燥に必要な熱風の量を削減出来るので、燃料コストを下げられる。
 - 脱臭装置に入るVOC濃度が上がり、助燃燃料が不要となる。

4 . 効果

- ・脱臭装置及び本システムを設置する経費が、毎年得られるランニングコストの削減効果により、実績では2年～6年で償却出来る。
- ・省エネルギーの実現をテーマとして、NEDOの補助金を受ける事も可能となる。

以上